

糖尿病教室ニュース

「糖尿病治療の現在と未来」
「え・の・きで覚える合併症」

薬剤師 岡田 智行
看護師 水口 清美

糖尿病治療の現在と未来

現在、糖尿病治療薬は種類が多く、複数の薬剤を併せて使用されている患者様も多くおられます。いろいろな薬があるので、それぞれの特徴、副作用、生活上の注意点等を理解することが大切です。

大まかな分類として、インスリンに関係しているものと、そうでないものがあります。インスリン注射などインスリンそのものや、スルホニル尿素（SU）薬、速効型インスリン分泌促進薬などインスリンを分泌させる働きが強い飲み薬では、低血糖を起こすリスクが高く注意が必要です。

新薬として、2009 年に高血糖の時のみ働く薬（DPP-4 阻害薬）、2014 年に尿から糖を排出して血糖を下げる薬（SGLT2 阻害薬）が承認されました。特に DPP-4 阻害薬は 2 型糖尿病治療薬の中心的薬剤の一つとなっています。今後も新薬の登場により、糖尿病の薬物治療は変遷していくものと思われます。



糖尿病合併症

（え・の・き）

糖尿病で怖いのは合併症です。糖尿病の初期には自覚症状がほとんどないため、放置していると気づかないうちに進行し、合併症を発症してしまう場合があります。

太い血管に起こる合併症を え・の・き で覚えてください。

え（壊疽） → 手足の小さな傷が治らず腐敗していく

の（脳梗塞） → 高血糖で動脈硬化が進み脳の細かい血管が詰まる

き（狭心症） → 高血糖で動脈硬化が進み心臓の血液の流れが悪くなる

糖尿病の治療には、運動療法、食事療法、薬物療法があります。合併症を発症しないために、治療を続け血糖をコントロールしましょう。

